

食に対する「健康志向」が引き続き最多 ～国産食品の「安全」イメージは7割に回復～ ＜日本公庫・平成26年度上半期消費者動向調査＞

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業が7月に実施した平成26年度上半期消費者動向調査で、食の志向について調査したところ、「健康志向」が引き続き最多回答となり、食に対する健康意識の高さを改めて示す結果となりました。また、国産食品と輸入食品に関する調査では、国産食品は価格が「高い」という回答が多い一方で、「安全である」という回答が69.7%に達しました。その反面、輸入食品は、安全への懸念が44.9%、価格面で「安い」という回答が平成21年7月の調査以降最低値となり、徐々に低下してきている傾向がみられました。詳細は以下のとおりです。

＜調査結果のポイント＞

○ 「健康志向」が依然最多、「経済性志向」は消費税増税後も影響なし(図1)

消費者の食の志向について、「健康志向」は、平成26年1月の前回調査（46.5%）から1.3ポイント低下したものの、45.2%で引き続き最多の回答となった。

食費を節約する「経済性志向」は、本年4月からの消費税率アップの影響で上昇が予測されたが、33.2%と前回調査（32.2%）から1.0ポイントの上昇に留まる結果となり、消費税率アップの影響はあまりみられなかった。

○ 高い年代ほど「健康志向」は上昇し、「経済性・簡便化志向」は低下(図2、3)

20代から70代までの年代別にみると、「健康志向」は、70代が65.4%と最も高いという結果となり、年代が高くなるにつれ割合が上昇する傾向がみられた。一方、「経済性志向」や「簡便化志向」では、年代が高くなるにつれ割合が低下する傾向がみられた。

男女別では、「経済性志向」、「安全志向」、「国産志向」、「美食志向」及び「ダイエット志向」で男性の割合が高く、「健康志向」、「簡便化志向」及び「手作り志向」で女性の割合が高いという結果となった。

○ 国産食品の「安全」イメージは回復、輸入食品の「安い」イメージが低下(図4、5)

食料品を購入するときに国産品かどうか「気にかける」との回答は77.4%、「気にかけない」との回答は18.9%、また、外食するとき国産品がどうか「気にかける」

との回答は35.6%、「気にかけない」との回答は55.0%という結果となり、前回調査から大きな変化はみられなかった。しかし、過去の結果と比較してみると、ここ数年では、国産品かどうかを「気にかける」割合が徐々に上昇してきている傾向がうかがえる。

また、国産原料の食品が「安全である」というイメージについては、69.7%となり、昨年12月の国内冷凍食品工場における農薬混入事件直後の前回調査（63.8%）から5.9ポイント上昇し、前々回調査（68.5%）を上回るまで回復した形となった。

一方、輸入食品に対するイメージでは、「安全面に問題がある」という回答が44.9%であったほか、最近の円安の影響などを受け、輸入食品が「安い」という回答が61.3%と平成21年7月の調査以降、最低値となり、徐々に低下してきている傾向がみられた。

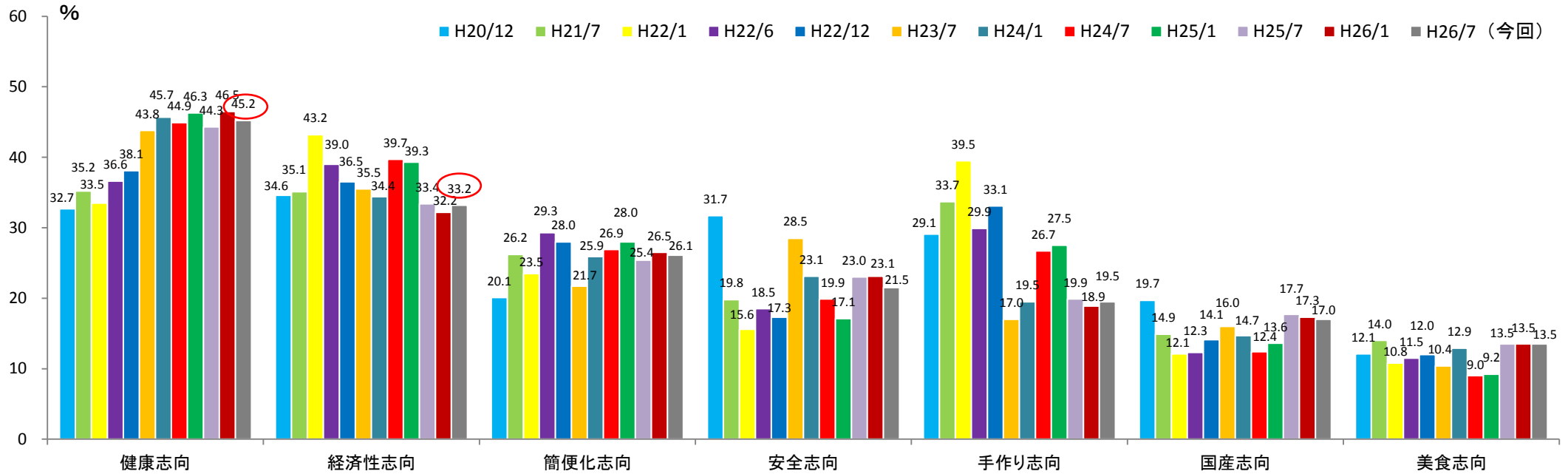
○ 「割高でも国産」は依然6割超、米・野菜・きのこで高い割合(図6、7、8)

輸入食品との関連で消費者が国産食品を選択するポイントとなる価格許容度を聞いたところ、「割高でも国産品を選ぶ」という回答が61.6%と前回調査（61.7%）とほぼ同様で、依然6割を超える高い割合となった。

品目別については、米、野菜、きのこにおいて「割高でも国産を選ぶ」と回答した割合が、それぞれ77.4%、69.0%、64.2%と高い割合になっている。また、その他の品目においても「割高でも国産を選ぶ」割合は、55%を超えており、なかでも「魚介類」では、57.2%で4期連続の上昇となった。

調査時期	平成26年7月1日～7月8日
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査対象	全国の20歳代～70歳代の男女2,000人（男女各1,000人）

図1 現在の食の志向（上位）の推移/2つまで回答



(参考：今後の食の志向（上位）の推移/2つまで回答)

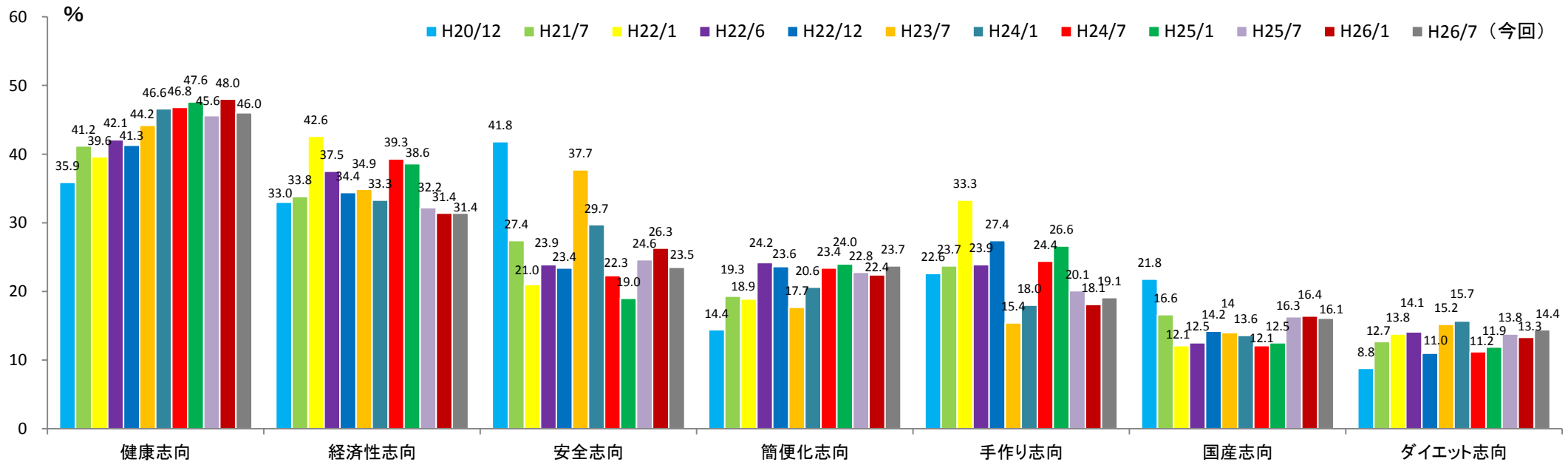


図2 年代別 現在の食の志向 (H26年7月調査)

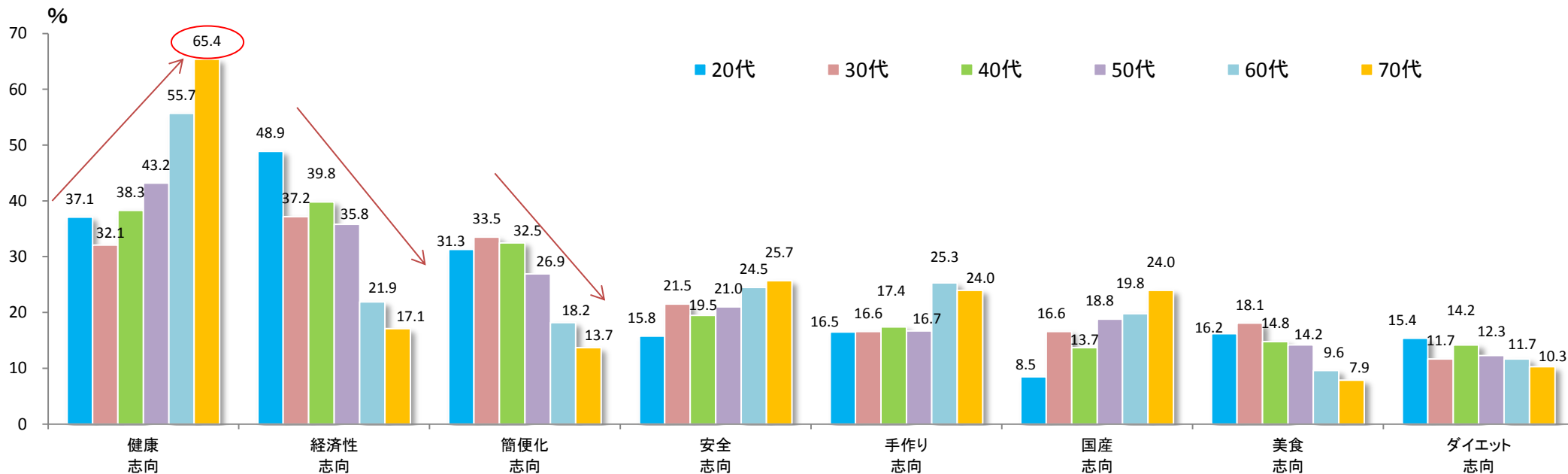
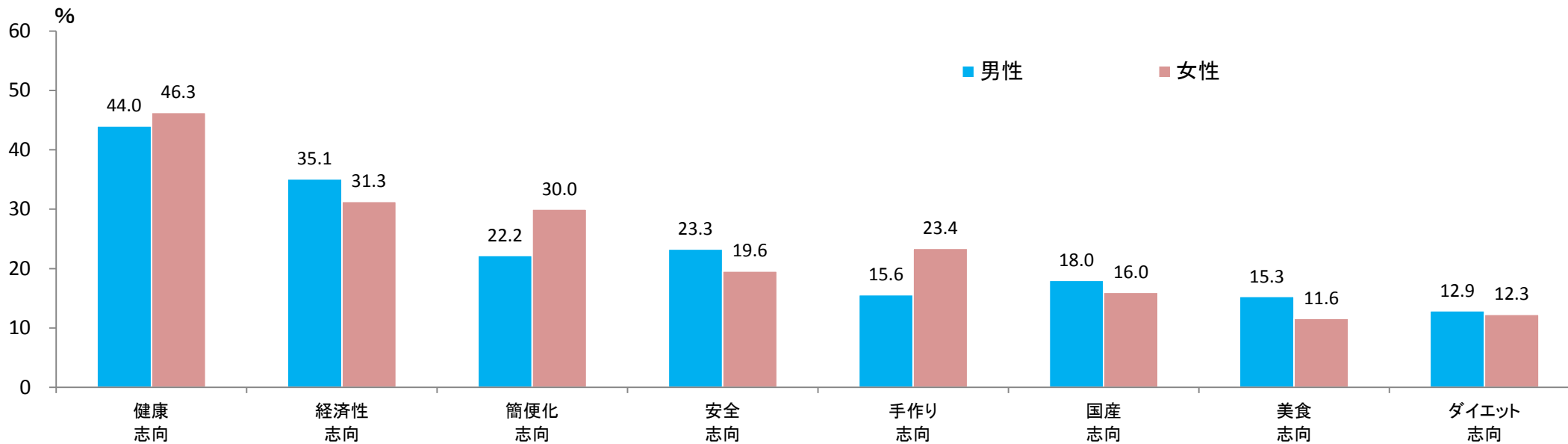
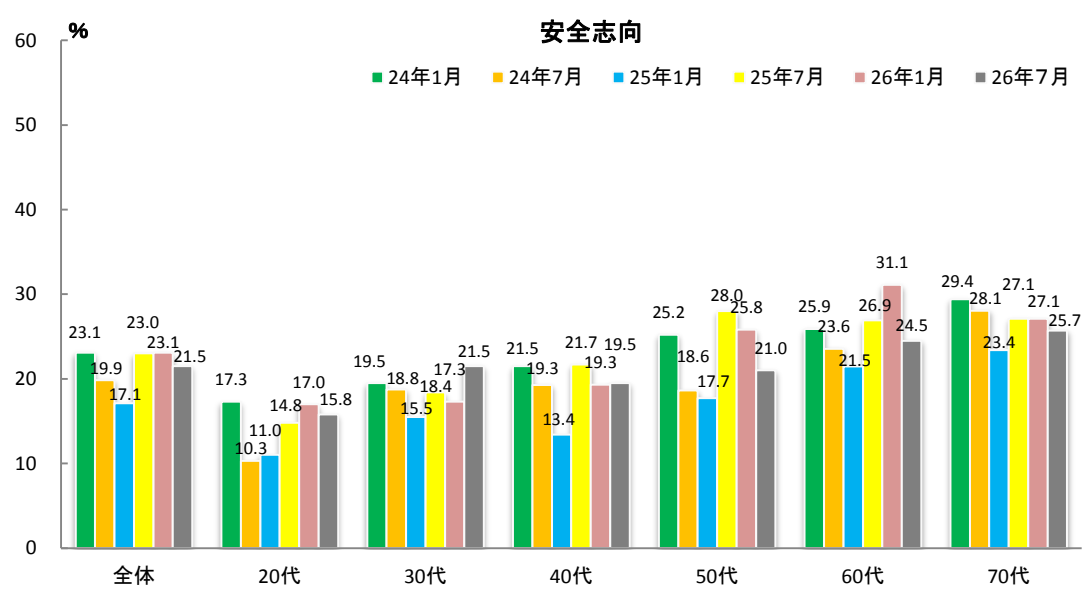
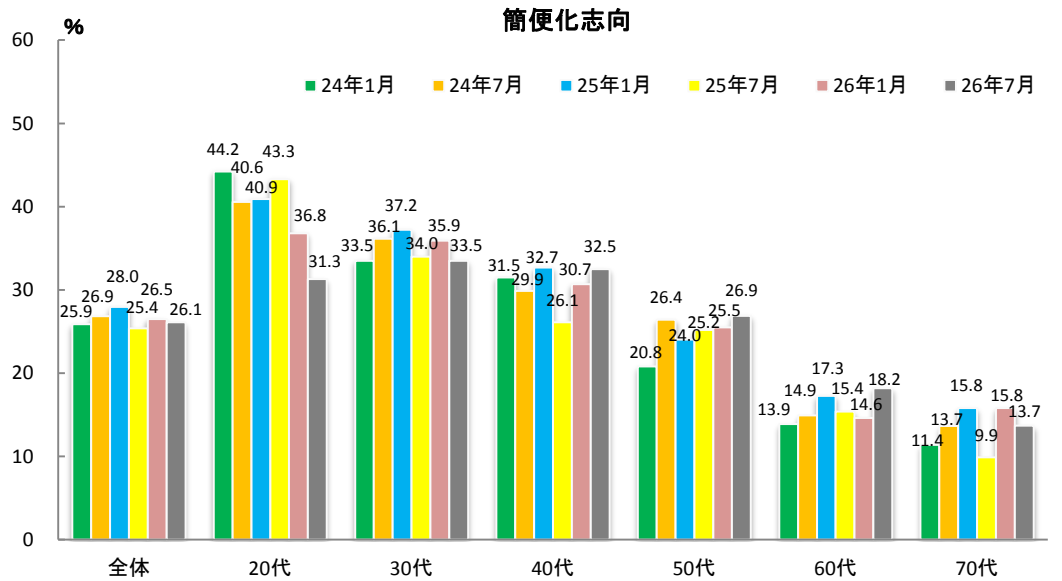
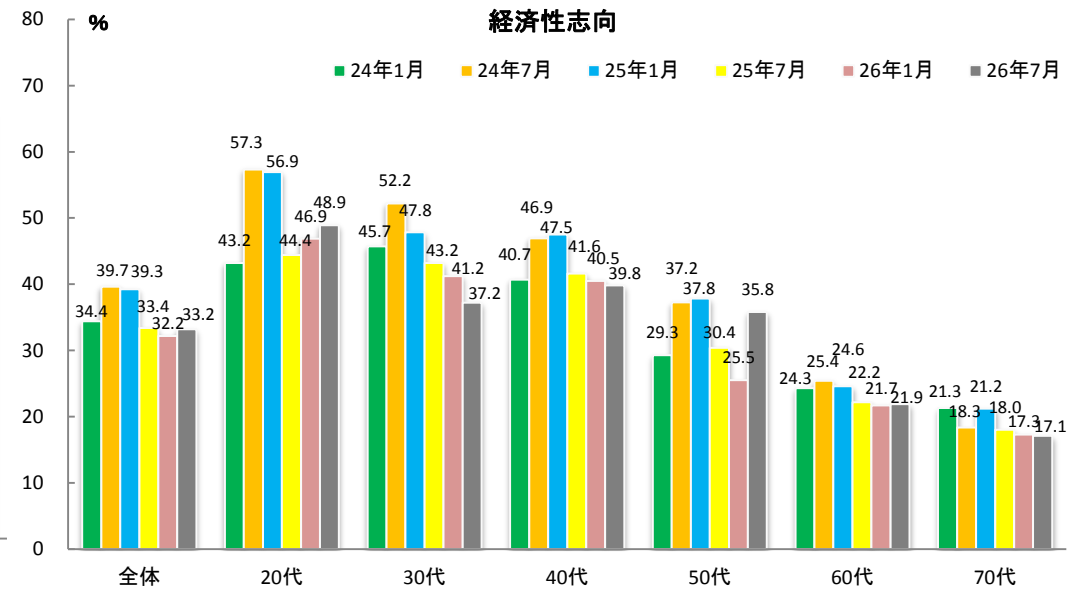
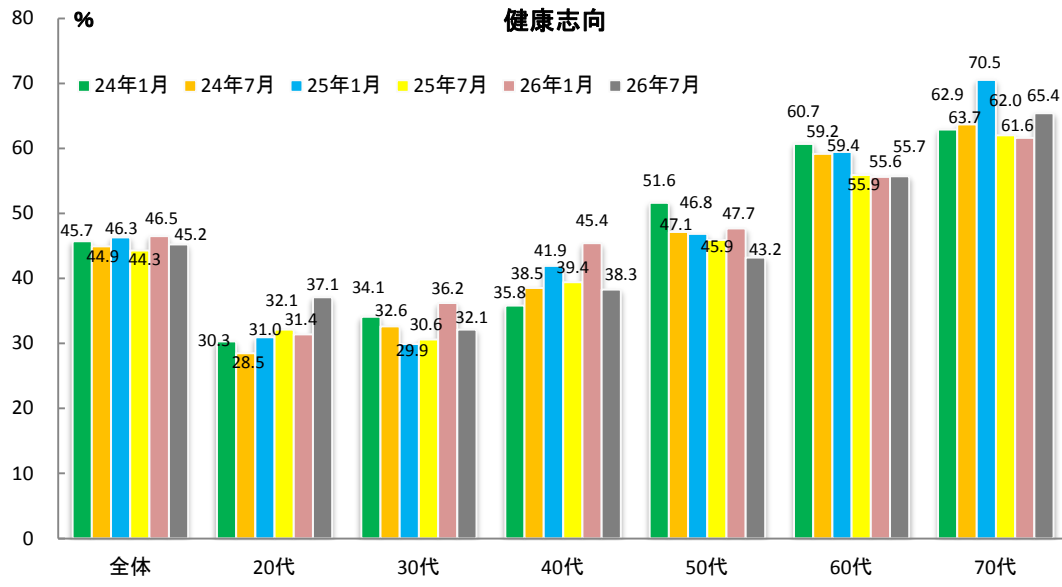


図3 男女別 現在の食の志向 (H26年7月調査)



(参考：年代別 現在の食の志向の推移)



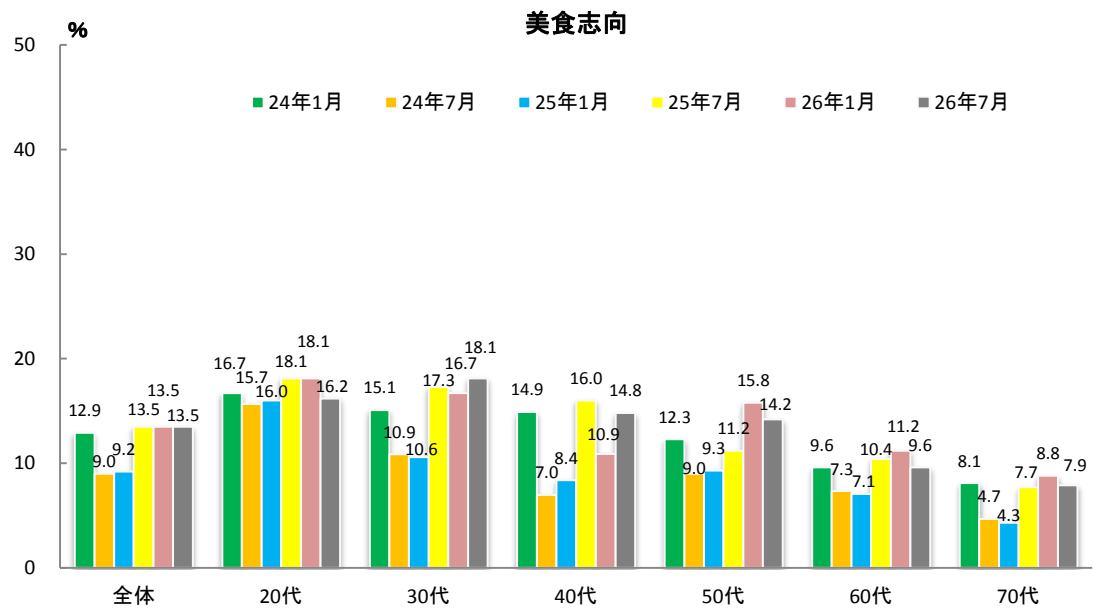
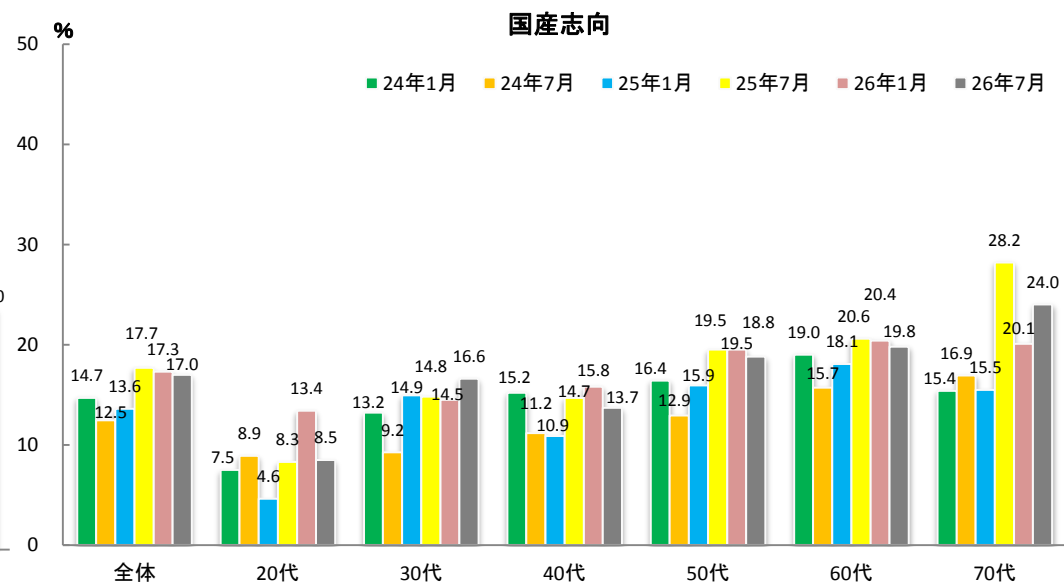
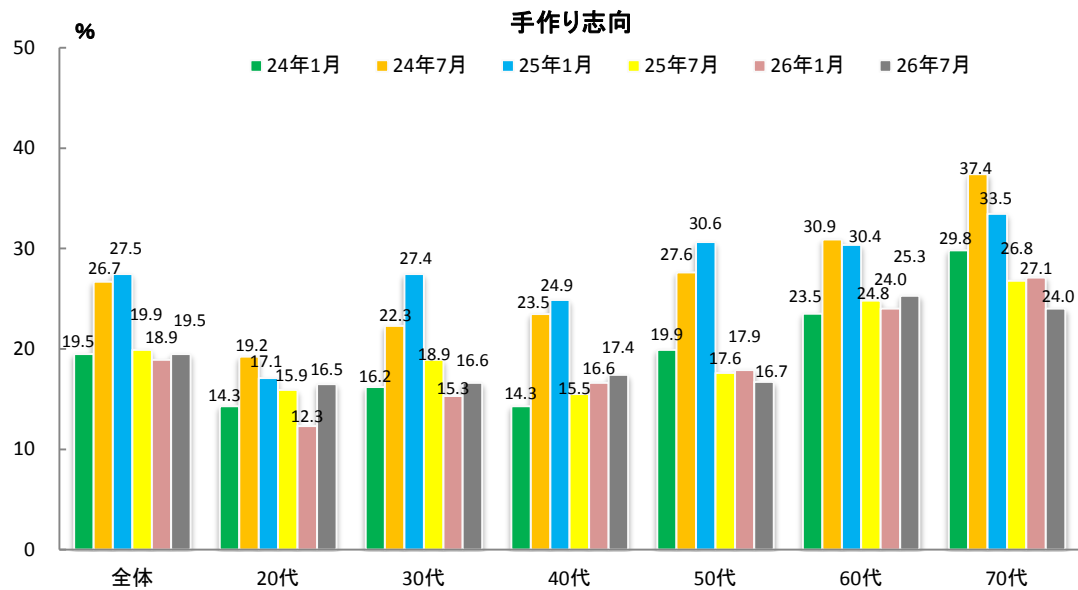
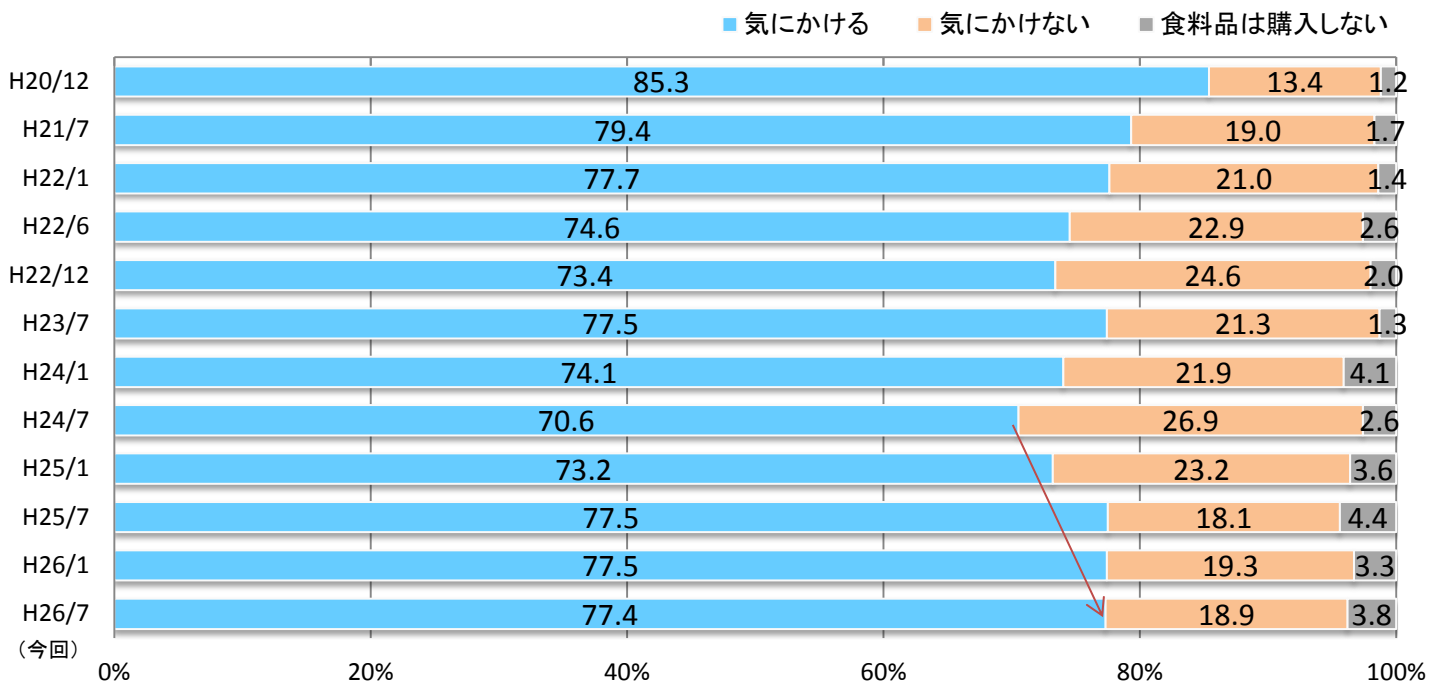


図4 食料品を購入するとき/外食するとき国産品かどうかを気にかけるか

(1) 食料品を購入するとき



(2) 外食するとき

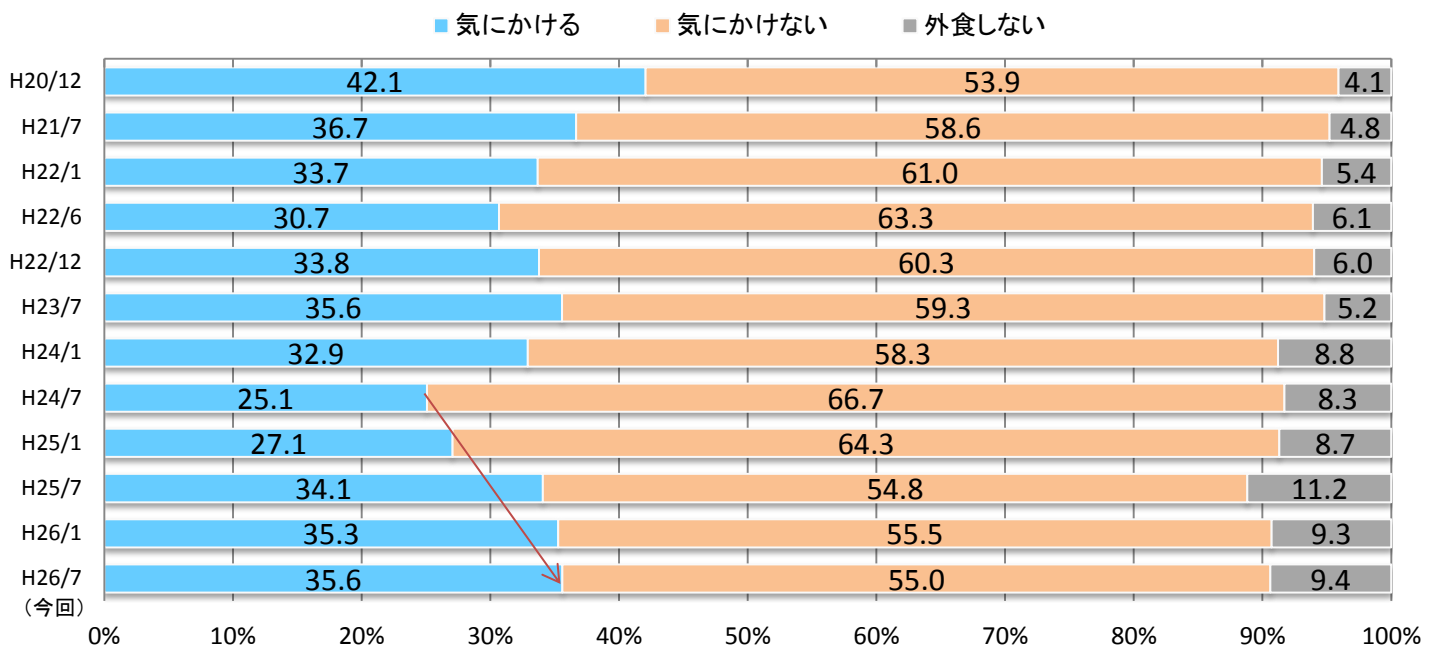
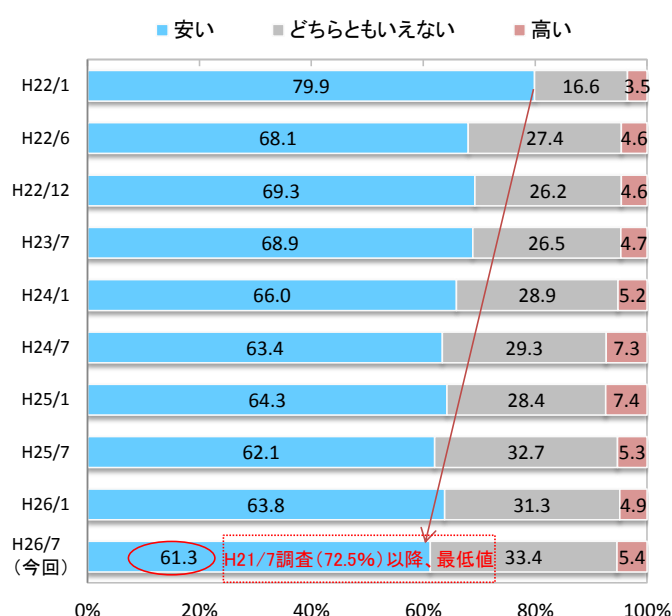
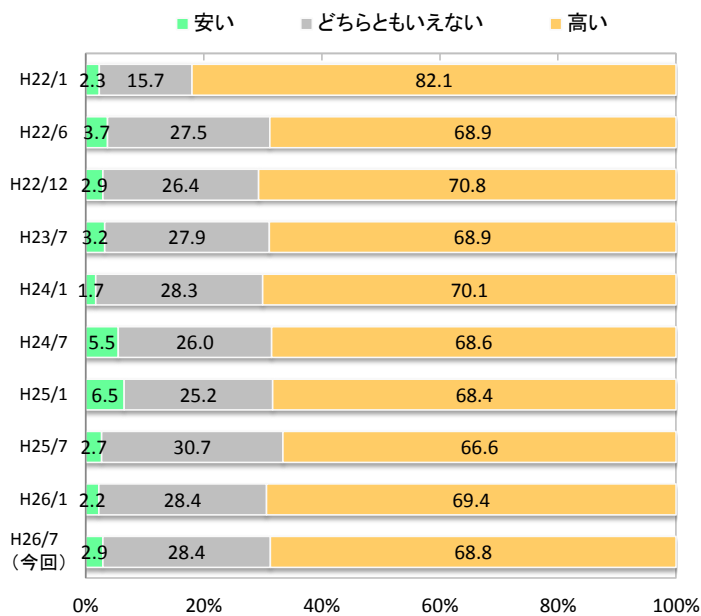


図5 国産原料の食品/輸入食品に対するイメージ

(1) 価格

(国産食品)

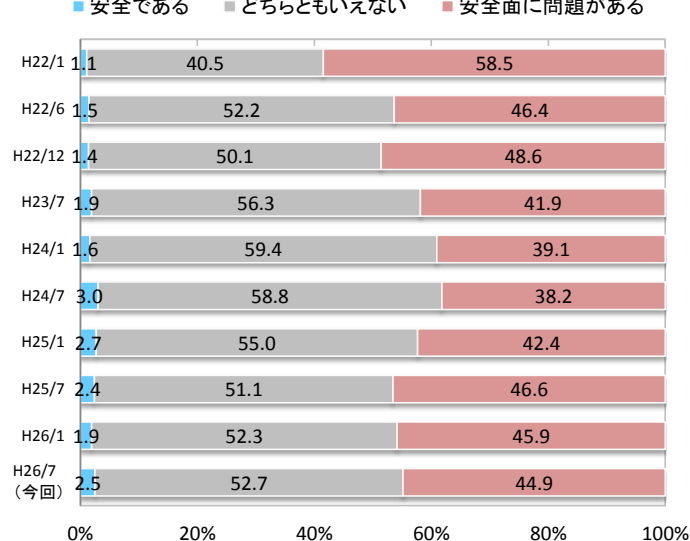
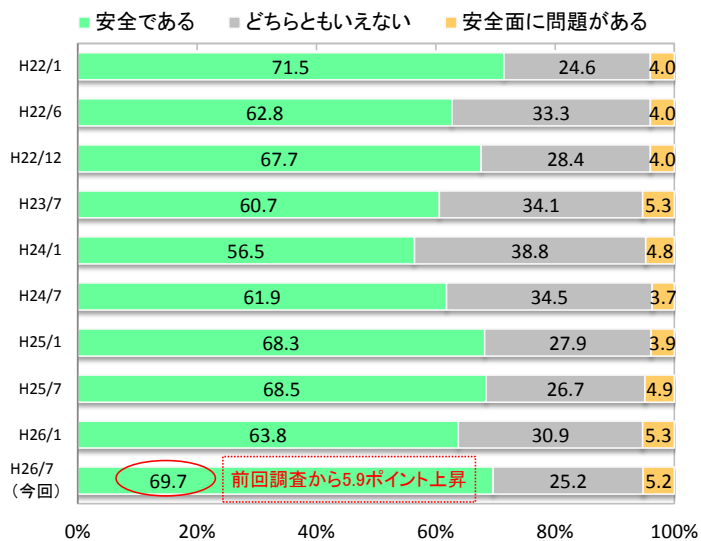
(輸入食品)



(2) 安全面

(国産食品)

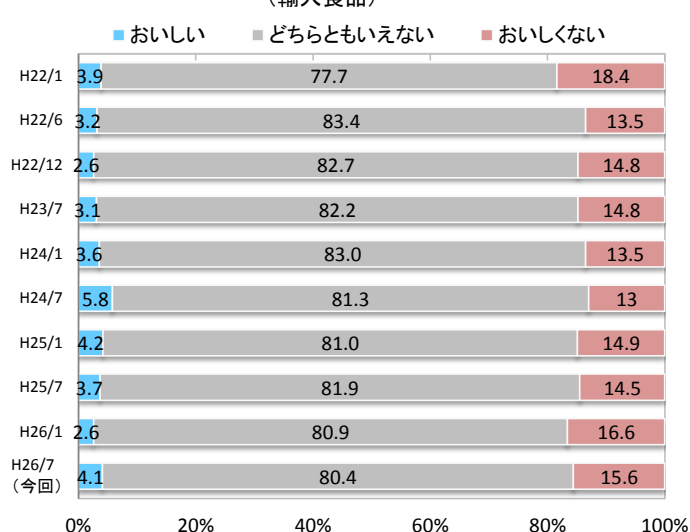
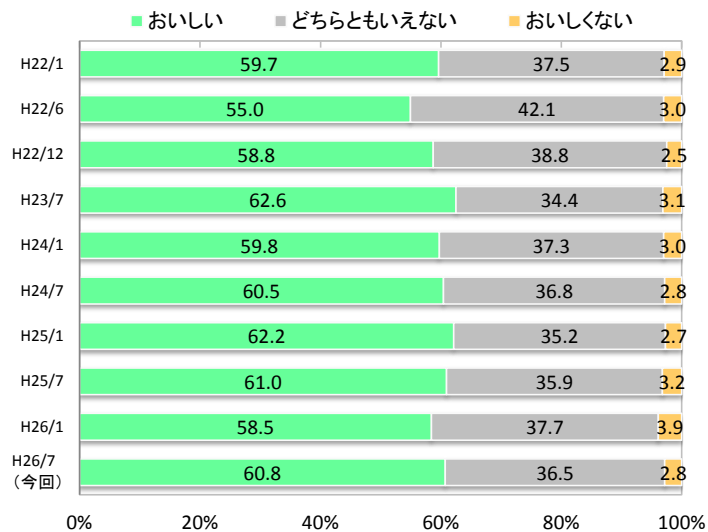
(輸入食品)



(3) おいしさ

(国産食品)

(輸入食品)



(4) 見たい目

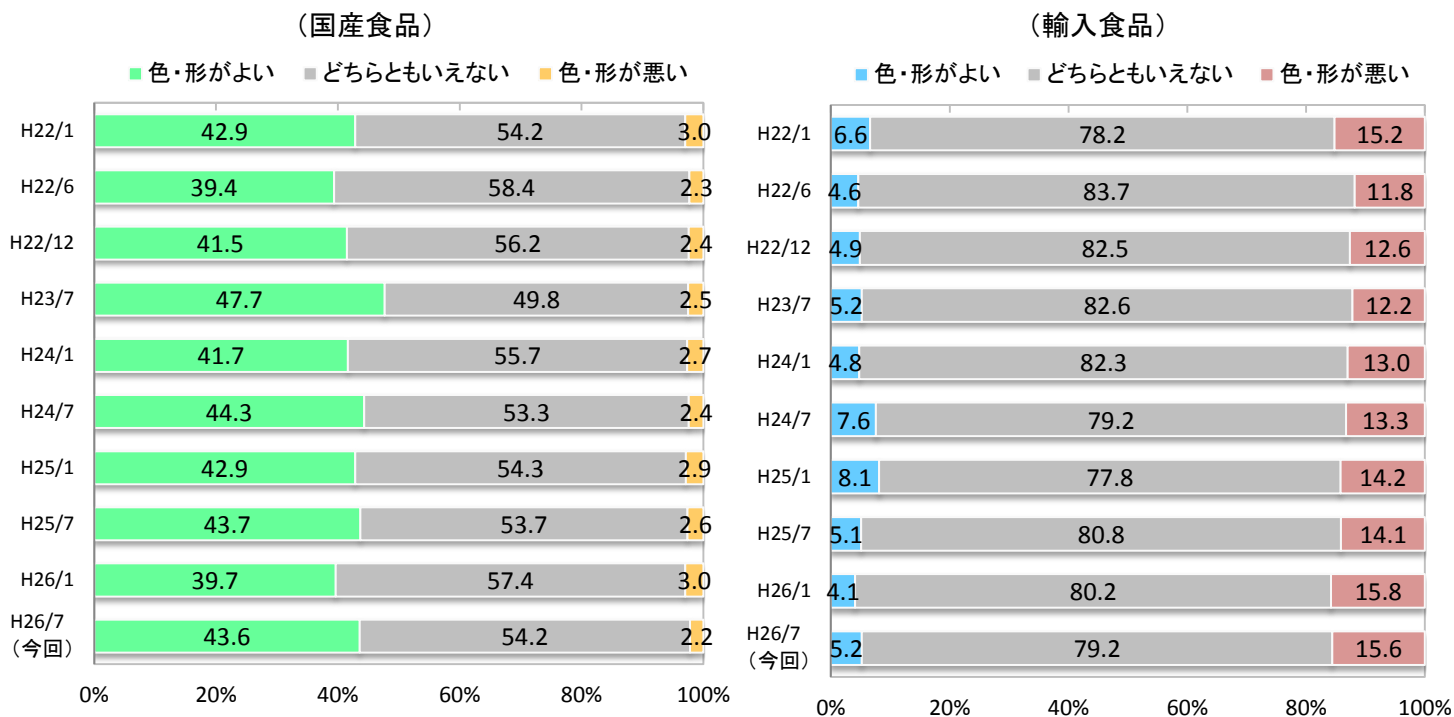
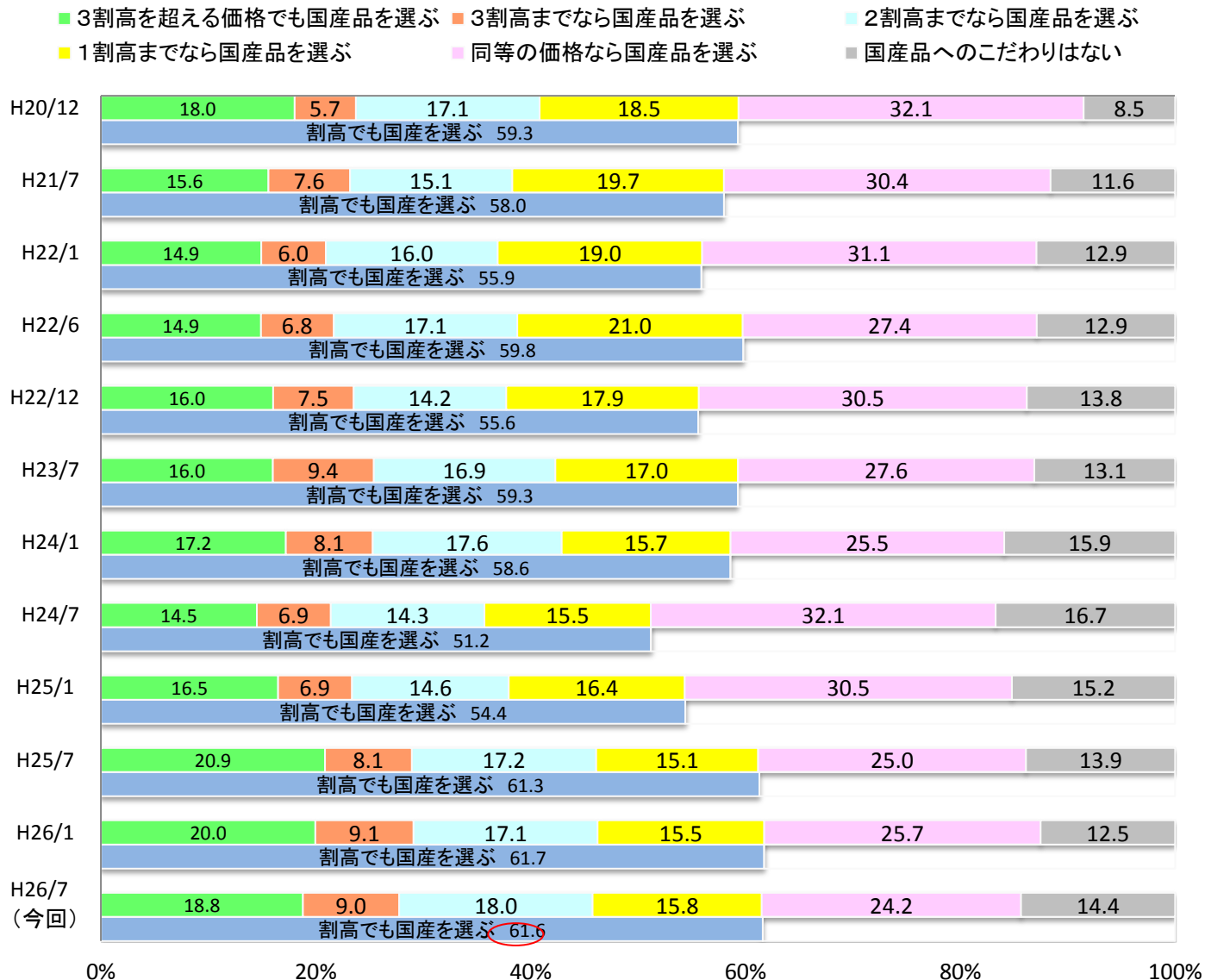
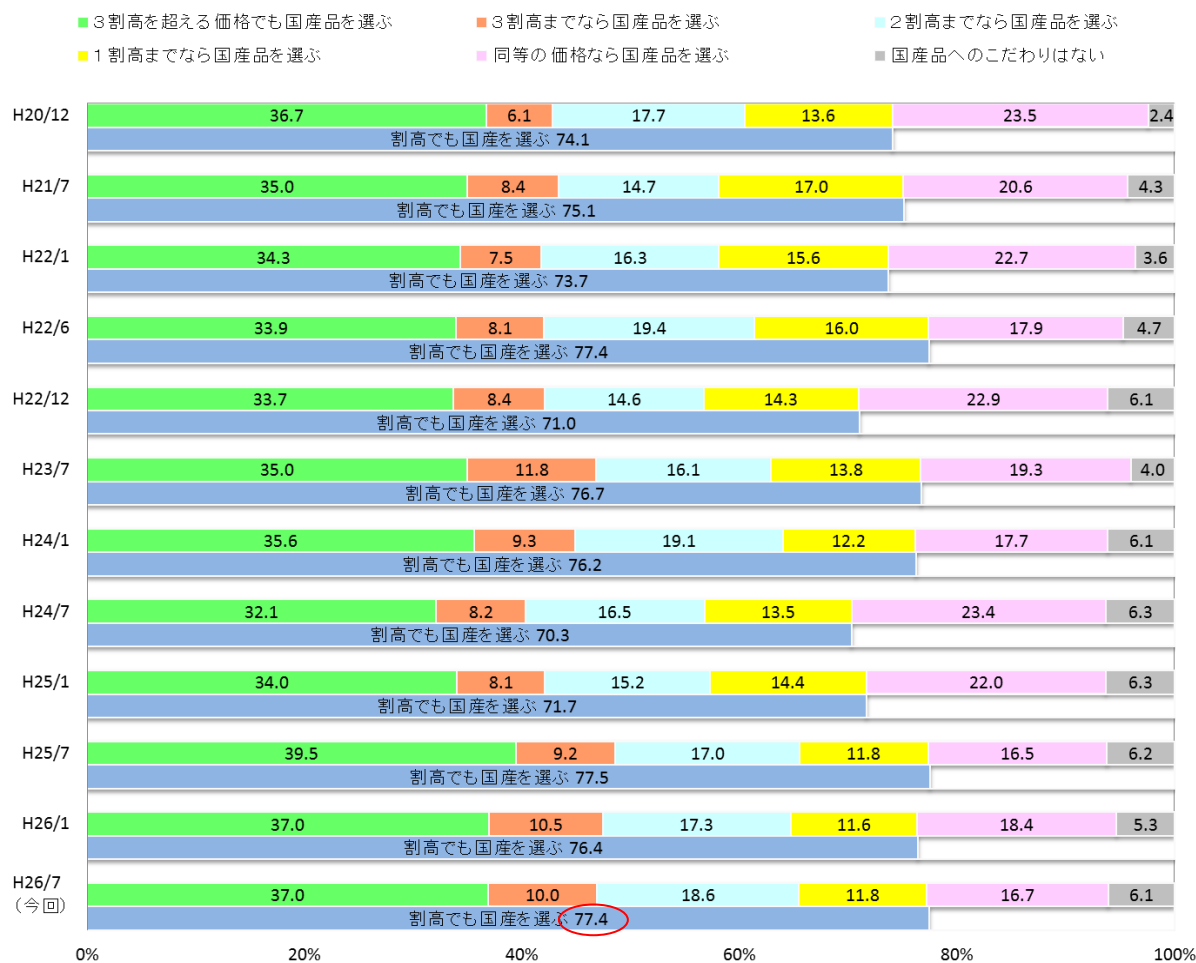


図6 国産食品の輸入食品に対する価格許容度

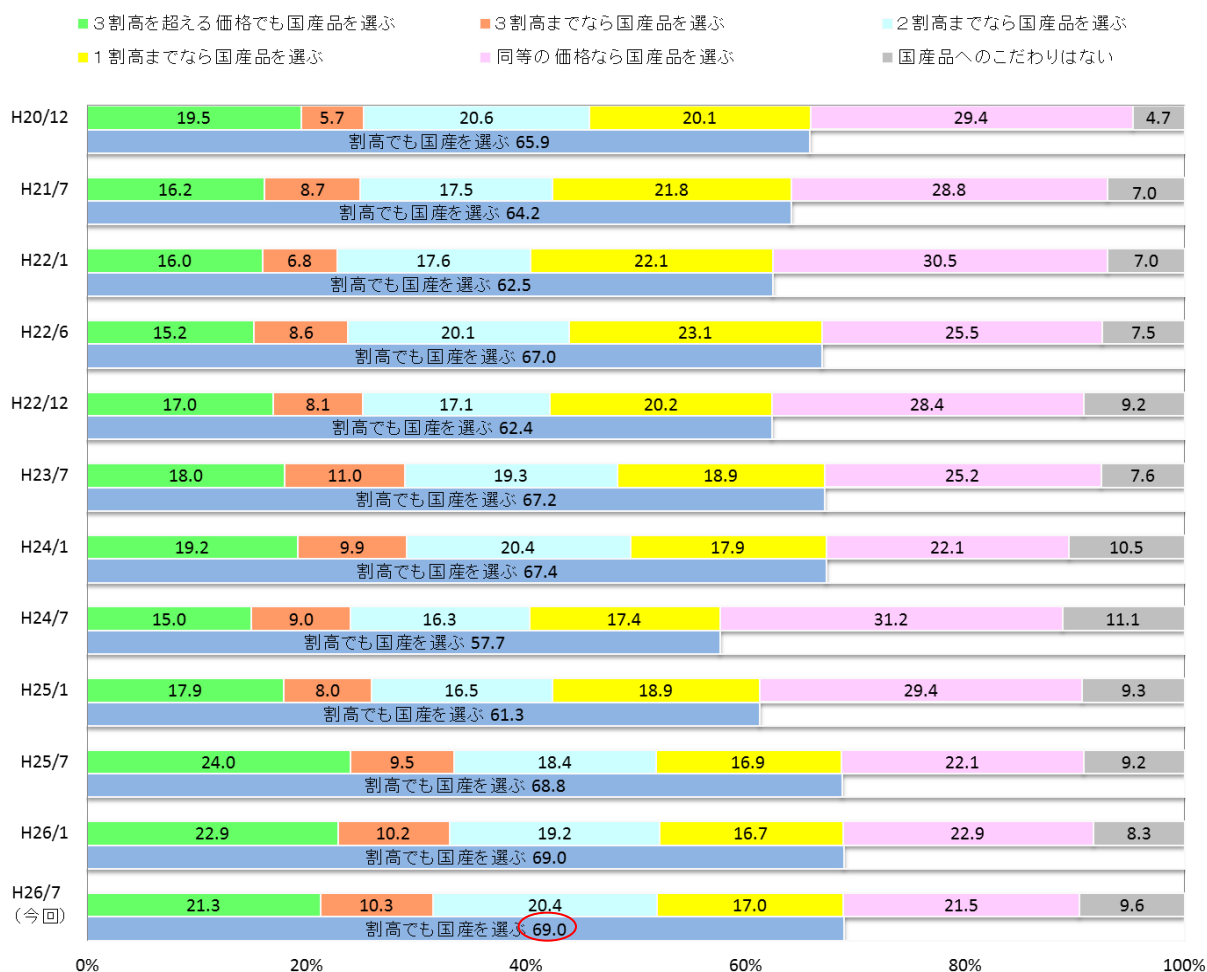


(参考：国産食品の輸入食品に対する価格許容度)

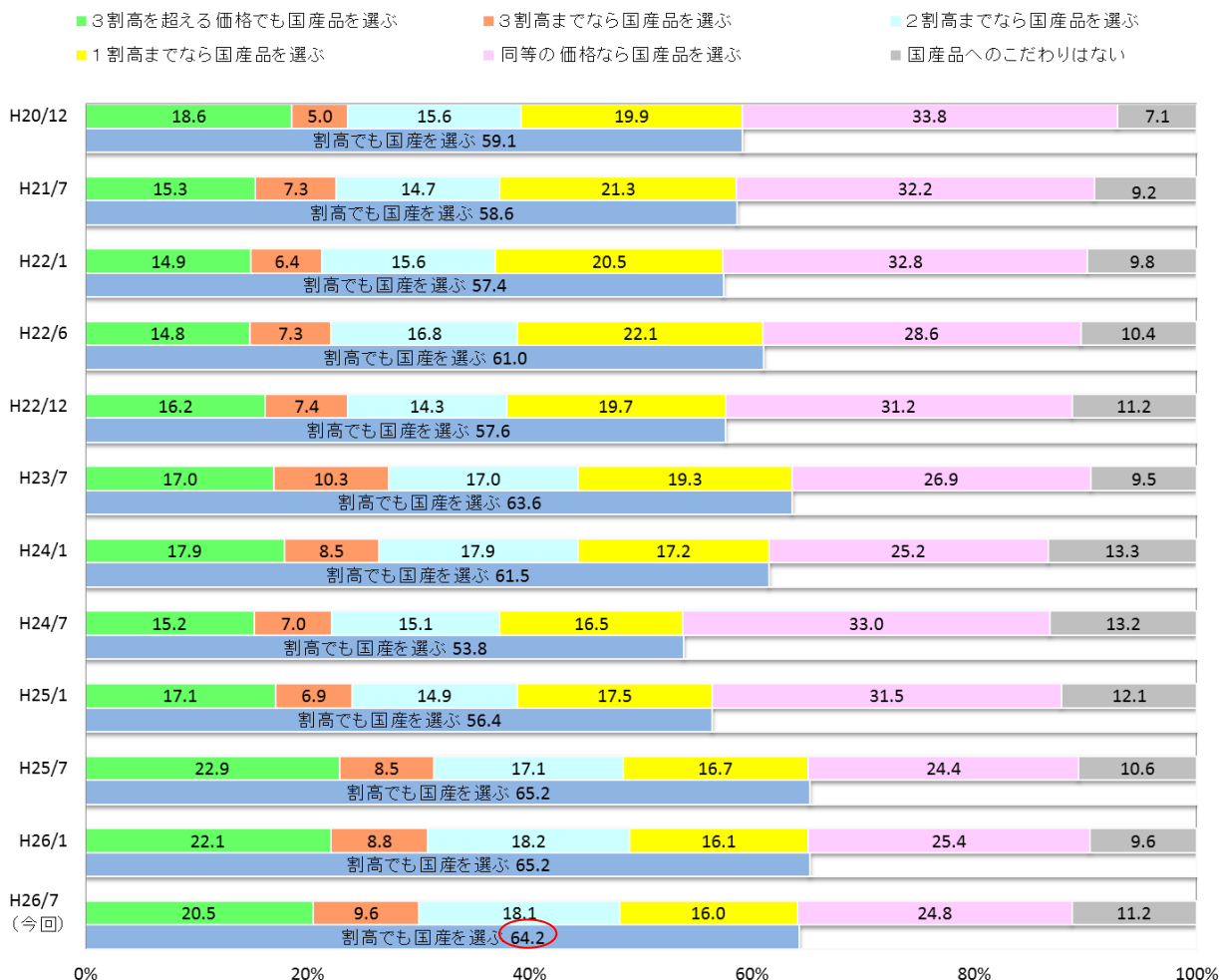
(1) 米



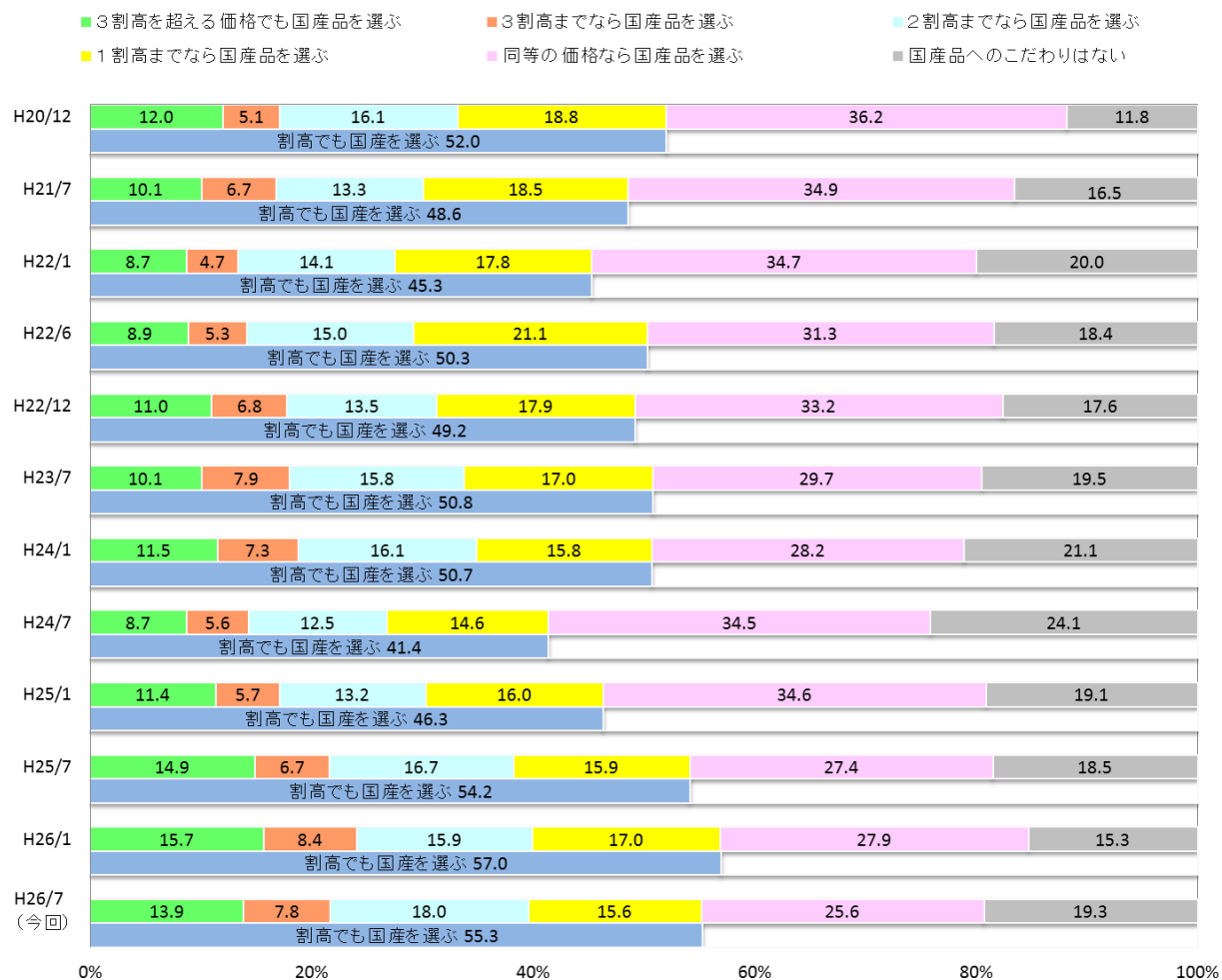
(2) 野菜



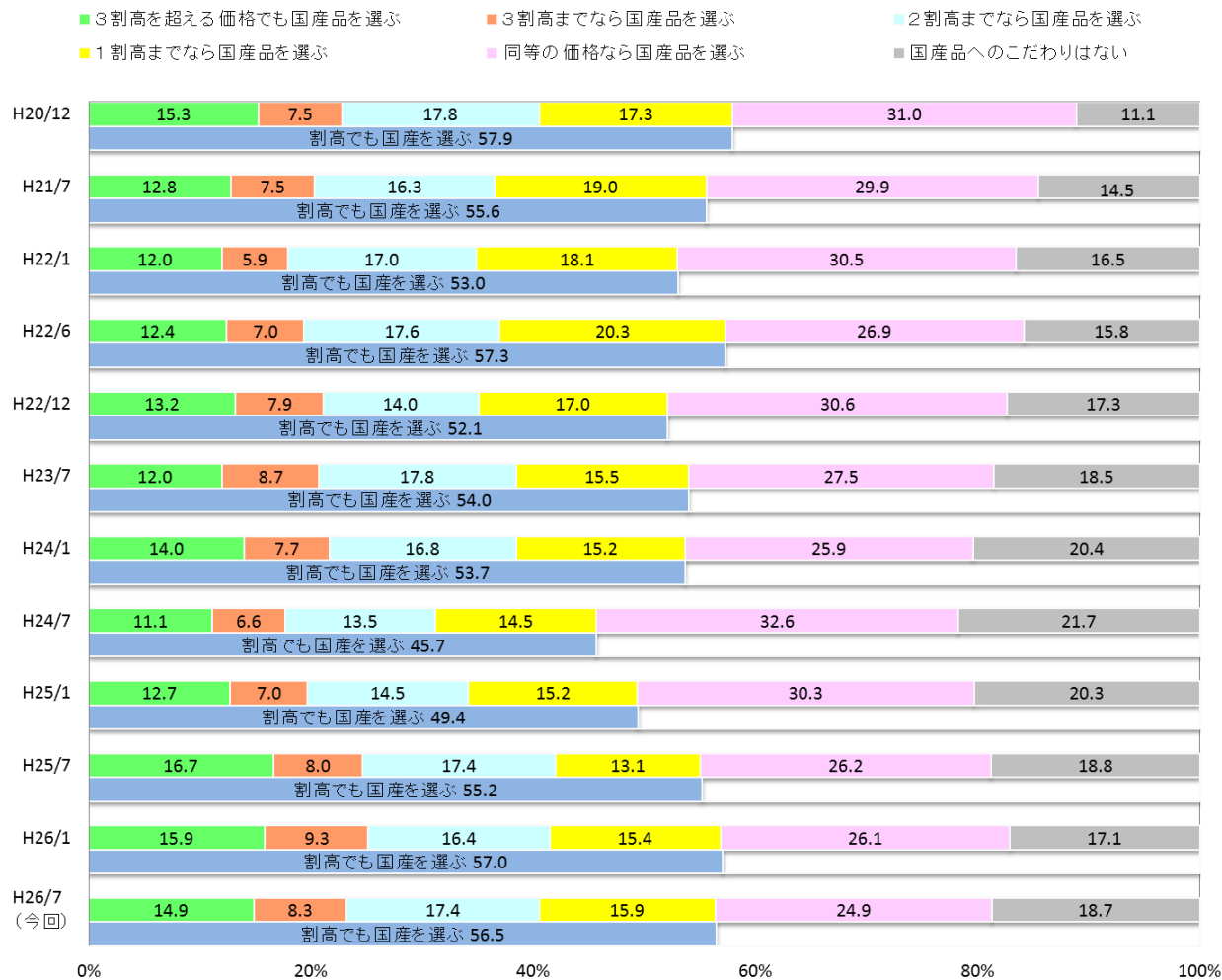
(3) きのこと



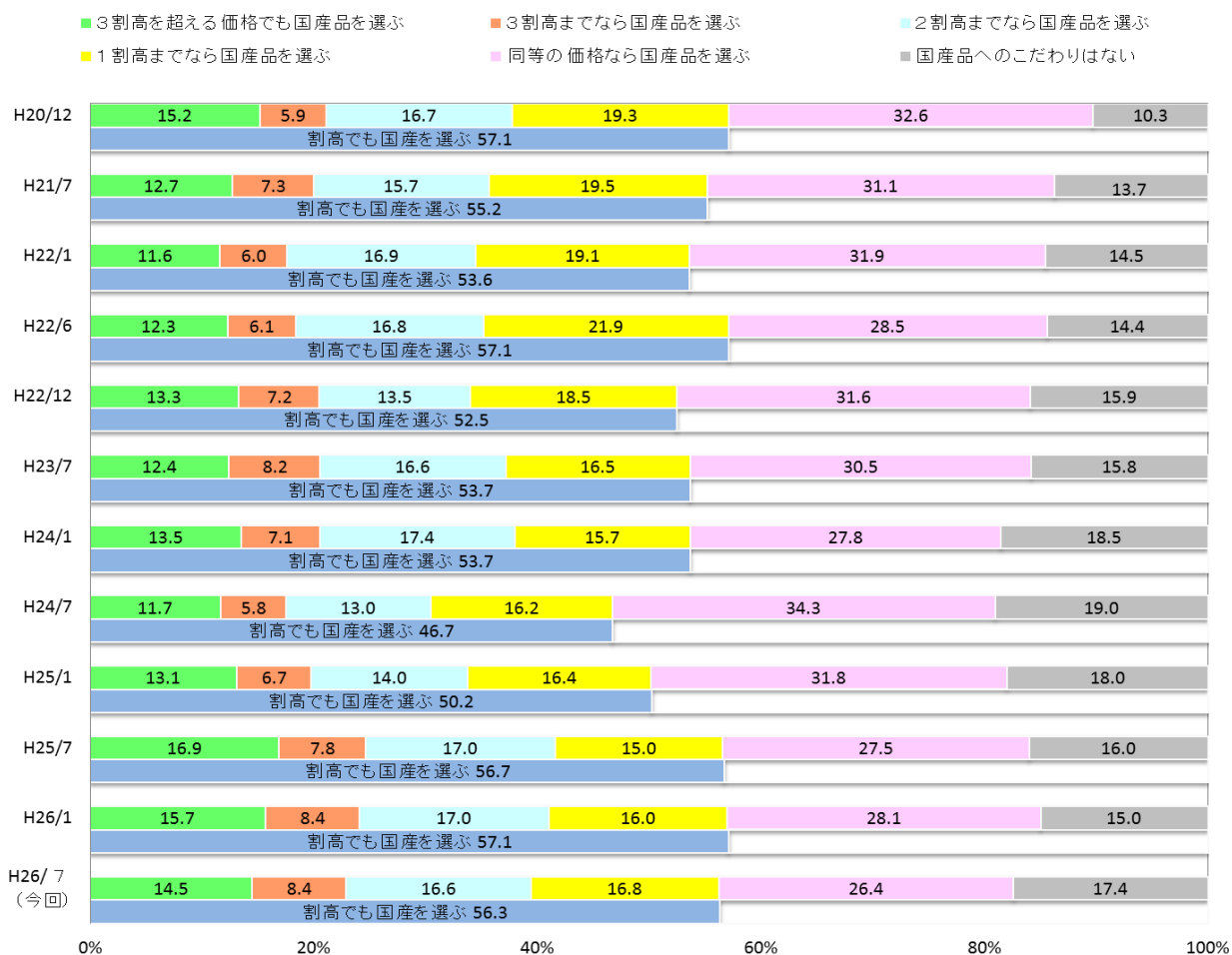
(4) 果物



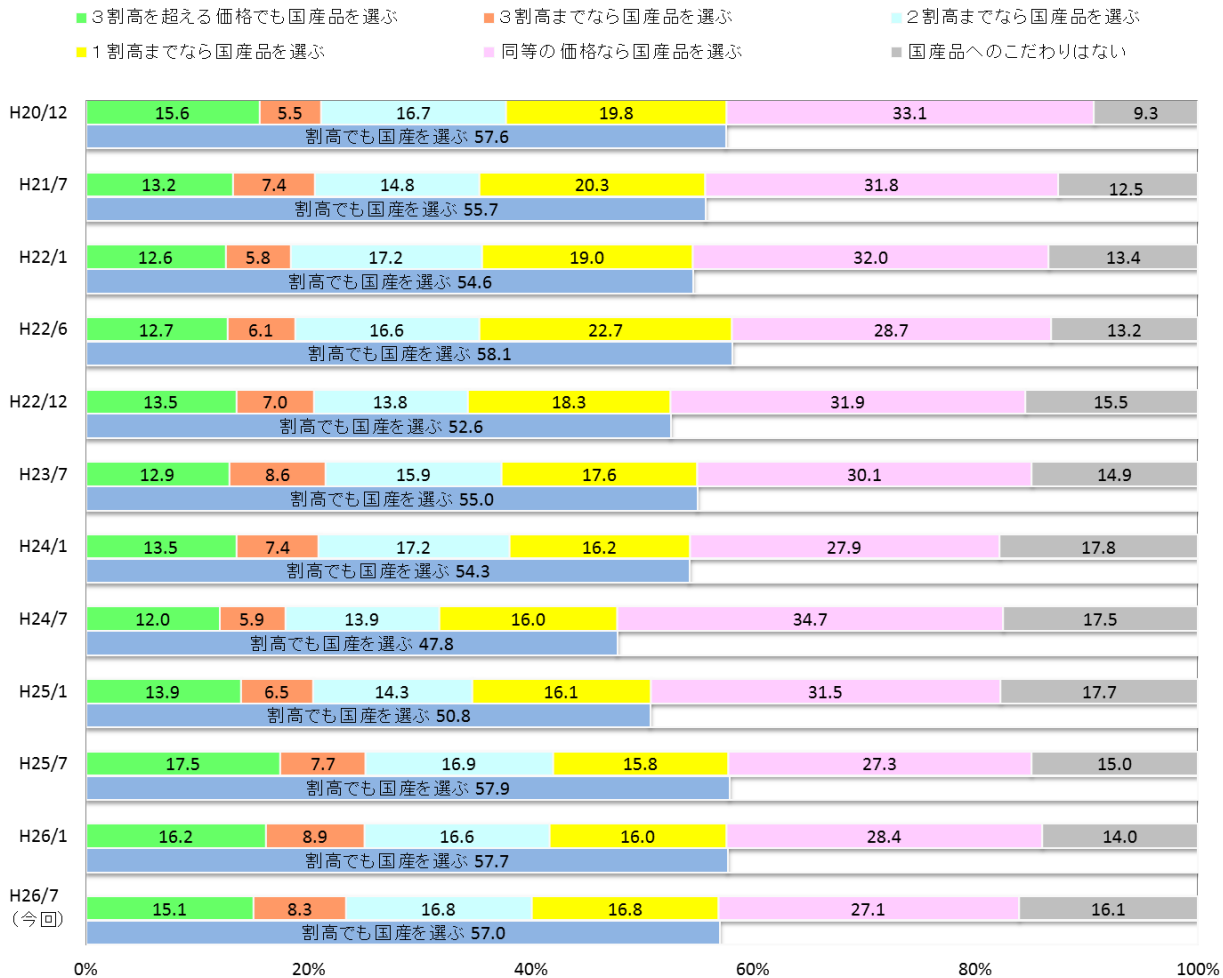
(5) 牛肉



(6) 豚肉



(7) 鶏肉



(8) 魚介類

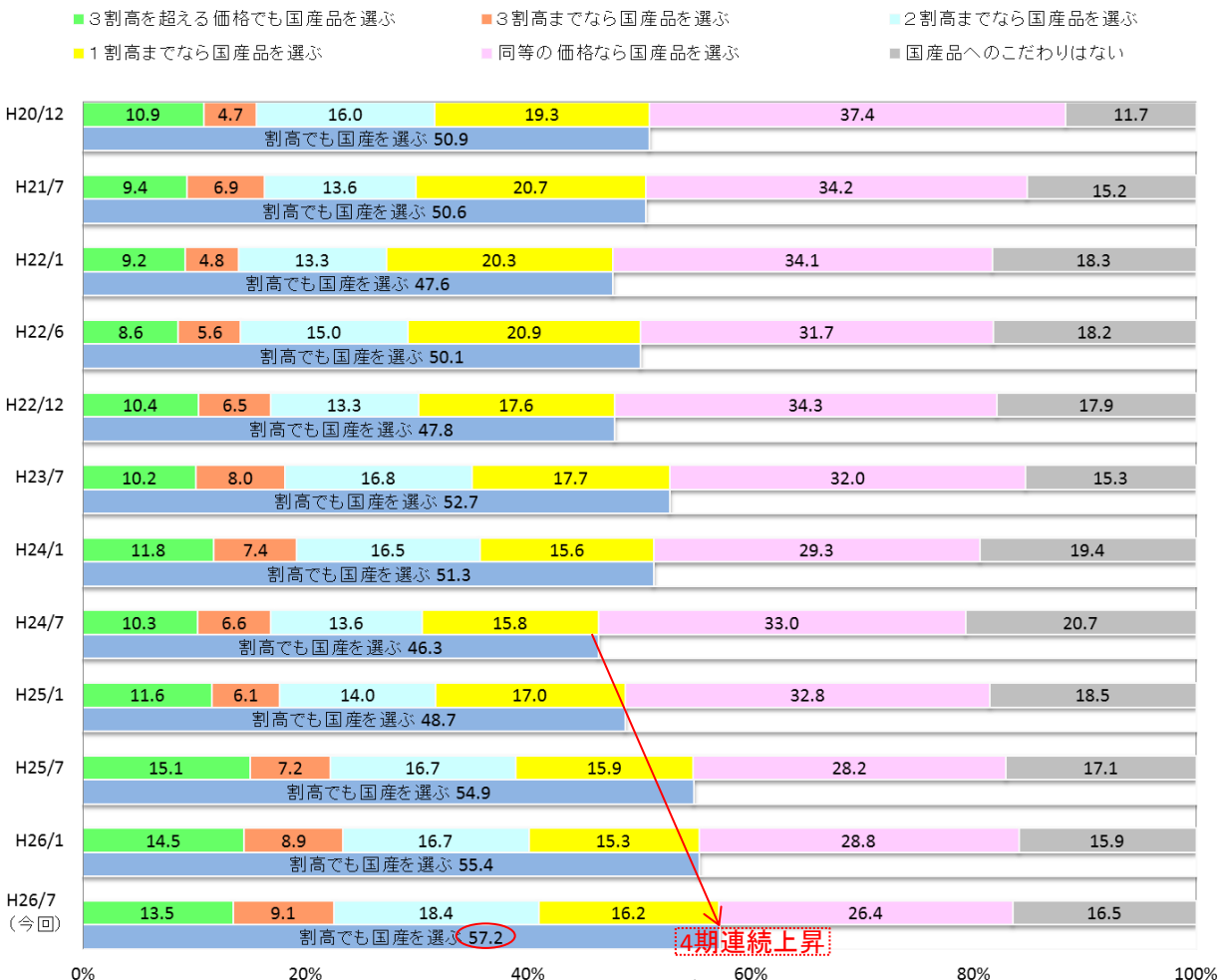


図7 普段抵抗なく買っている輸入食品（複数回答）

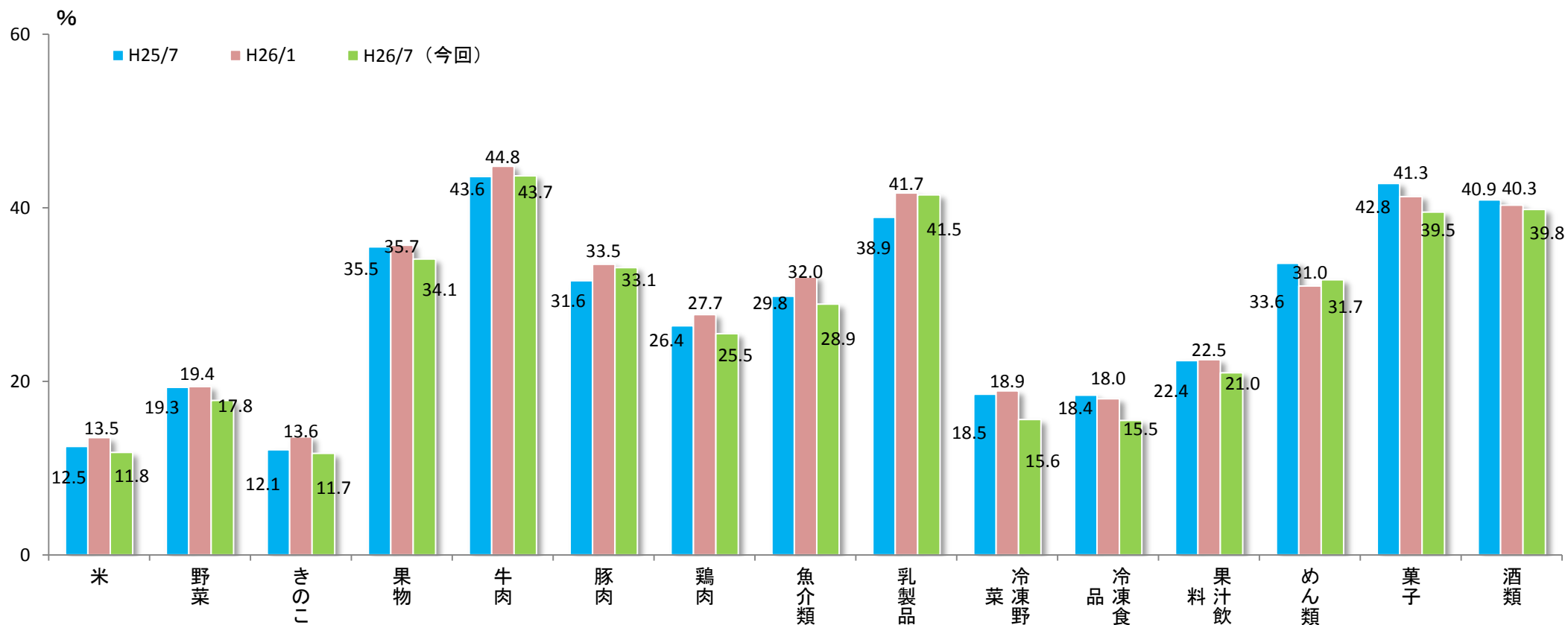
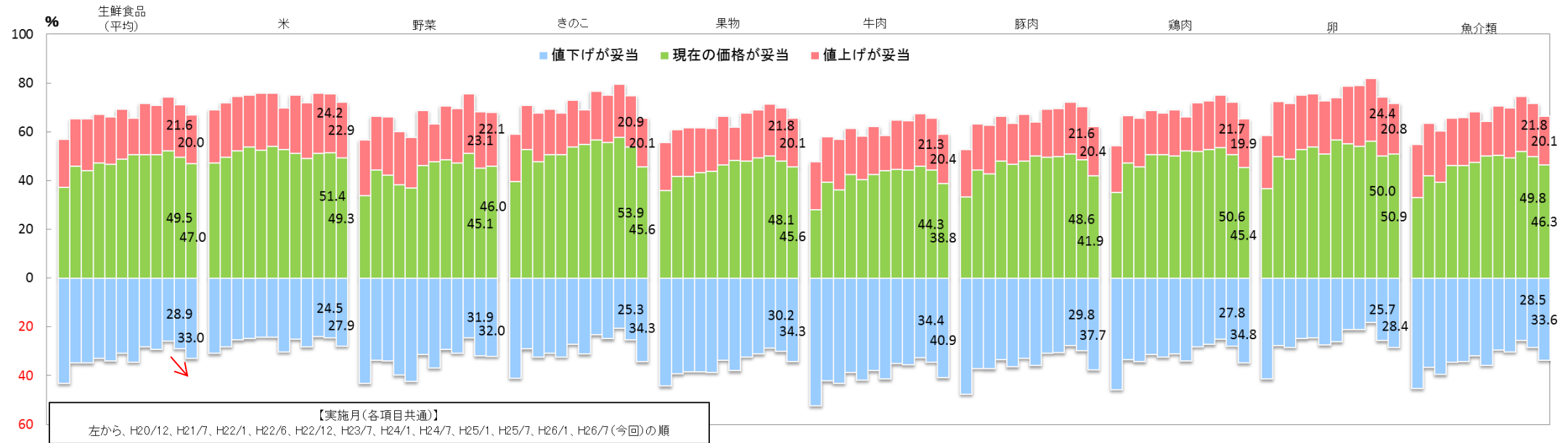


図8 現在の価格と比べて妥当と思う価格水準
(1) 生鮮食品



(2) 加工食品

